

大 学 院 特 別 講 義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

第 2 回免疫学領域セミナー

下記の通り講義を行いますのでご案内申し上げます

演 者: **大野 博司 先生**

理化学研究所統合生命医科学研究センター

粘膜システム研究グループ・

グループディレクター

演 題: 宿主-腸内細菌相互作用

日 時: 平成 29 年 2 月 6 日(月)

17 時 00 分～19 時 00 分

場 所: 東京医科歯科大学

歯科棟南 4 階 特別講堂

ヒトを含む動物の腸内には膨大な数の腸内細菌が常在している。しかし、我々宿主はこれらの腸内細菌を手放しに受け入れているわけではなく、「人体最大の免疫組織」と称される腸管免疫系を発動させて IgA 抗体を産生・分泌することで細菌を抑え込もうとしている。そのためには、腸管免疫系はどのような細菌が腸内に抗原として存在するか感知する必要がある。この、腸内細菌を取り込んで腸管免疫系に抗原として供給しているのが、特殊な腸管上皮、M 細胞である。

その一方、腸内細菌は宿主の生体防御機構や免疫系の正常な発達に重要な役割を果たしている。本講義では、M 細胞の機能・分化の分子機構や、腸内細菌が宿主の生体防御・免疫系に及ぼす影響について、講師らの知見を中心に議論する。

連絡先: 分子免疫学分野 東 みゆき 内線 5935